

請願第 55号

平成31年 2月15日

川崎市議会議長 松原成文様

川崎区

川崎市社会保障推進協議会

ほか 87名

75歳以上の医療費負担の原則2割化に反対することを求めることに関する請願

請願の要旨

75歳以上の医療費の窓口負担を2割にしないよう意見書を提出するなど国に働きかけてください。

請願の理由

2019（平成31年）年から、後期高齢者医療（75歳以上）の医療費窓口負担を現行の1割から2割にする論議が、経済財政諮問会議（内閣府）や財政制度審議会（財務省）で進められ、社会保障制度審議会（厚生労働省）でも議論が開始されました。2割化となる負担増の計画に対して、老人クラブや医療関係団体から慎重な意見が相次いでいます。

戦前、戦後を体験してきた高齢者は日本経済の発展に寄与し、医療に安心して掛かれる制度に支えられ世界一の長寿国を作りあげてきました。しかし、この間、公的年金の受給額が毎年減少するなどの影響もあり、一人暮らしの高齢者の約半数は生活保護基準を下回り、高齢世帯の27%が貧困状態に陥っています。

高齢者は健康で長生きするために、僅かな貯蓄を取り崩し日々の生活を送っています。このような厳しい実態に追い打ちを掛ける75歳以上の医療費自己負

担の2割化は、高齢者の生活と健康に大きな影響を及ぼし、私たちは反対です。

以上の趣旨によりお願いいたします。

紹介議員

勝 又 光 江